

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
福祉心理学専門演習Ⅳ		必修	2	4	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
梅沢 佳裕	B310	y.umezawa	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt;社会福祉を取り巻く社会状況、社会環境について理解するとともに、専門職の専門性について理解する。社会福祉に関する文献、研究論文を精読し、社会福祉の課題を整理する。                      &lt;概要&gt;毎回課題の取り組み内容について時間内で検討を行い、発表を行う。</p>				
学習上の助言	社会福祉に広く関心を持って、ゼミ活動に取り組む姿勢が求められる。				
教科書	特に指定しない				
参考書	授業の中で論文等を随時紹介する。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	社会福祉専門職に必要な総合的な知識を身につけることができる。			HSU(2) (6), 社精心(1)	
②	社会福祉分野の諸問題について理解できる。			HSU (6), 社精心(1)	
③					
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーションを行う。授業の進め方、学習の方法などについて理解する。	登校型授業・講義	発表のための文献検索、毎回の発表資料の様式を作成する。	3	
2	福祉について関心を寄せた動機を確認する 今後のゼミの取り組み内容について自分の考えをまとめ、発表する	登校型授業・演習	取り組み課題について自身で調べてまとめ、準備をする。	3	
3	福祉関連に就職することの意味を理解する① 目的、仕事内容についての確認	登校型授業・演習	取り組み課題について自身で調べてまとめ、準備をする。	3	
4	福祉関連に就職することの意味を理解する② 福祉の仕事に対する自己目標を立てる	登校型授業・演習	取り組み課題について自身で調べてまとめ、準備をする。	3	
5	福祉関連に就職することの意味を理解する③ 自己覚知を行い、面接ロールプレイ	登校型授業・演習	取り組み課題について自身で調べてまとめ、準備をする。	3	
6	福祉関連施設の特徴の理解を深める① 調べ学習、教員からの即時的な文献・資料を提示してのワーク、討議、発表	登校型授業・演習	課題について調べてまとめ、発表の準備をする。	3	
7	福祉関連施設の特徴の理解を深める② 調べ学習、教員からの即時的な文献・資料を提示してのワーク、討議、発表	登校型授業・演習	課題について調べてまとめ、発表の準備をする。	6	
8	福祉関連施設の特徴の理解を深める③ 調べ学習、教員からの即時的な文献・資料を提示してのワーク、討議、発表	登校型授業・演習	課題について調べてまとめ、発表の準備をする。	3	
9	社会福祉における尊厳の理解①文献をもとに認知症の人の尊厳について教員との討議、発表※その場で適宜内容に見合った資料を提示する	登校型授業・演習	課題について調べてまとめ、発表の準備をする。	3	
10	社会福祉における尊厳の理解②文献をもとに認知症の人の尊厳について教員との討議、発表※その場で適宜内容に見合った資料を提示する	登校型授業・演習	課題について調べてまとめ、発表の準備をする。	3	
11	社会福祉における尊厳の理解③文献をもとに認知症の人の尊厳について教員との討議、発表※その場で適宜内容に見合った資料を提示する	登校型授業・演習	課題について調べてまとめ、発表の準備をする。	3	
12	対人援助職の理解 (寄り添うケアとは何か) ①—福祉文献をもとに教員と合議、発表する ※文献は授業毎に提示する	登校型授業・演習	課題について調べてまとめ、発表の準備をする。	3	
13	対人援助職の理解 (寄り添うケアとは何か) ②—福祉文献をもとに教員と合議、発表する ※文献は授業毎に提示する	登校型授業・演習	課題について調べてまとめ、発表の準備をする。	3	
14	対人援助職の理解 (寄り添うケアとは何か) ③—福祉文献をもとに教員と合議、発表する ※文献は授業毎に提示する	登校型授業・演習	課題について調べてまとめ、発表の準備をする。	3	

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

15	全体を振りかえり、フィードバックする	登校型授業・演習	「福祉心理学専門演習Ⅰ～Ⅳ」を見直し、振り返りを行う。				15
試							
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	0	50	0	50	100
総合力指標	知識・技術力	0	0	10	0	0	10
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	0	0
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	40	0	0	40
	コミュニケーション力	0	0	0	0	20	20
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	30	30
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	社会福祉に関する諸問題に関する知識や問題点が理解できているか、発表の内容や技術などについて総合的に評価する。				授業毎に解説、講評を行う。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	課題に対する取り組み姿勢、意欲について積極性、継続性に関して評価を行う。				定期的に面談をおこない、フォローアップをおこなう。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>下記項目を受講要件とする。                  *履修制限：当科目を履修する学生は、担当教員の許可を受けたうえで履修すること。                  *原則、欠席は認められない</p> <p><b>教員の実務経験：</b>ソーシャルワーカー、社会福祉士として7年3か月の臨床経験。  <b>実践的授業の内容：</b>社会福祉専門職（相談員・介護職等）をめざし、知識・技術の定着を図る</p> <p>なお、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。                  全15回が登校授業（対面授業）であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う。</p>							